

第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

1 発達段階に応じた読書活動の推進

(1) 乳幼児期における取組

**(家庭における読書活動の推進)**

乳幼児期の子どもにとって、家庭は、生活の基本の場であり、子どもが本と初めて出会う場でもあります。子どもの読書習慣は、日常生活を通じて形成されるものであり、子どもが読書を楽しみ、自ら読書に親しむことができるように、保護者が意識して読書を日常の生活の中に位置づけ、乳幼児期から継続して子どもの読書習慣を育てていくことが重要です。そこで、乳幼児が、信頼できる身近な大人に読み聞かせをしてもらい、絵本の楽しさを味わうために、市町村における乳幼児健診等の機会を通して、本と出会う場づくりを支援します。また、子どもの発達段階に応じた本選びができるように、推薦図書リスト等の作成や情報提供に努めます。

**(保育所・幼稚園等における読書活動の推進)**

保育所・幼稚園等においては、絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうことができる活動を積極的に行うことが必要です。そこで、一人ひとりの子どもが絵本等に親しむ機会を充実するための手立てとして、推薦図書リスト「絵本おはなし・宝箱」等を活用し、計画的な読書活動の取組が行われるよう、啓発していきます。また、保育者に対する園内研修等への支援を通して、保護者による絵本の読み聞かせの大切さを啓発するように努めていきます。

**(オーテピア高知図書館による支援)**

オーテピア高知図書館では、子どもたちが自分自身で図書や紙芝居を手にとってゆっくり楽しめる環境と、感性と知性、倫理性と社会性を育むことができるような図書、雑誌、紙芝居、新聞等を提供します。また、お話コーナーや親子コーナーなどにおいて、「読み聞かせ」や「お話し会」等を開催するなど、様々なサービスを提供します。

担当課	計画の記載内容	平成30年度の実施状況	成果と課題	備考																						
生涯学習課	<p><b>①乳幼児健診等における本と出会う場づくりの普及・促進</b> 子どもが身近な大人を通して本と出会うために、県内全市町村において、教育委員会、市町村立図書館等や子育て支援関係の様々な機関が連携・協力して、ボックス タート応援事業等を実施しています。今後も継続して実施されるよう、情報提供や活動の支援に努め、幼児期の読み聞かせ等から発達段階に応じた働きかけや子どもの興味・関心に応じた働きかけを行うとともに、保護者も一緒になって読書に親しむことを促進します。</p> <p><b>・ブックスタート応援事業</b></p> <p><b>②子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施</b> 子どもが成長・発達段階に応じた良い本と出会うように、継続して推薦図書リストである「絵本おはなし・宝箱」に啓発用チラシを作成し、乳幼児健診時等に配付します。その際、市町村立図書館等や子育て支援関係の部局、読書ボランティア等の連携・協力により、読み聞かせや講話等を行い、家庭読書や図書館利用につながるよう働きかけます。</p> <p>また、保育所・幼稚園等へも「絵本おはなし・宝箱」を配付し、保育者等が読み聞かせ等を行う時の選書の参考としたり、掲載している本が読み聞かせされたりするよう、活用を促します。</p> <p>このように、乳幼児期から継続して読書活動(読み聞かせ)が行われるよう、子ども読み聞かせ運動(読育(どくいく)運動)を実施します。</p>	<p><b>①乳幼児健診等における本と出会う場づくりの普及・促進</b> ・ブックスタート応援事業の実施：推薦図書リスト「絵本 おはなし 宝箱」及び啓発用チラシの作成。(各7,000部) ・各市町村で乳幼児健診時等、保護者と乳幼児が一緒になる機会に配布し、家庭での読み聞かせを促進する。</p> <p><b>②子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施</b> ・保育所や幼稚園等に推薦図書リストを配布、選書や読み聞かせ等に活用されるように促す。 配布数：乳幼児健診等5,600部、保育所・幼稚園 660部(各園2部)、その他(研修、各園取組等)685部 (H30.11.12 現在)</p>	<p><b>①乳幼児健診等における本と出会う場づくりの普及・促進</b> <b>(成果)</b> ・継続して取り組んできたことで、各市町村で乳幼児健診時以外にも読み聞かせ活動の啓発が行われてきた。</p> <p><b>(課題)</b> ・今後も引き続き、市町村訪問等を通じ、計画的な読書活動の取組が行われるよう啓発していく必要がある。 ・「絵本 おはなし 宝箱」の発行から9年目となり、推薦図書リストも古くなってきたため、内容について協議していく必要がある。</p> <p><b>②子ども読み聞かせ運動(読育運動)の実施</b> <b>(成果)</b> ・継続的な啓発により、読み聞かせやブックスタートの取組について徐々に認知されてきている。</p> <p><b>(課題)</b> ・市町村訪問等により啓発を進めるとともに、子どもが本に触れる機会の充実に向けて、引き続き取組を実施していく必要がある。</p>																							
具体的な取組	<p><b>③保育者への園内研修等の充実</b> 保育者に対し、指導計画等に位置付いた指導ができるよう、読書活動の意義や重要性、発達段階に応じた図書の選定、親子読書への取組等について、また、保護者や公立図書館等の職員、読書ボランティア等との連携について、園内研修等の機会を捉え啓発していきます。</p> <p><b>・園内研修支援事業</b></p>	<p><b>③保育者への園内研修等の充実</b> ・各園に訪問する機会を捉え、日々の保育・教育における読書活動の重要性を伝え、園内研修の啓発を行った。</p>	<p><b>③保育者への園内研修等の充実</b></p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>【読書活動の現状調査】 読書活動についての研修実施率(%)</td> <td>69.2</td> <td>69.9</td> <td>69.3</td> <td>69.6</td> <td>77.2</td> <td><b>79.1</b></td> <td>81.1</td> </tr> </table> <p><b>(成果)</b> ・98.7%の園で指導計画に読書活動の位置付けがあり、各園で絵本に親しむ機会が設けられていた。 ・読書活動に関する研修に取り組んでいる園は増加傾向にある。</p> <p><b>(課題)</b> ・園内研修などの機会を捉え、日々の教育・保育における読書活動の大切さや取組方法についてさらに啓発を行っていく必要がある。</p>	指標	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値	【読書活動の現状調査】 読書活動についての研修実施率(%)	69.2	69.9	69.3	69.6	77.2	<b>79.1</b>	81.1							
指標	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値																			
【読書活動の現状調査】 読書活動についての研修実施率(%)	69.2	69.9	69.3	69.6	77.2	<b>79.1</b>	81.1																			
幼保支援課	<p><b>④保育所・幼稚園等における読書活動調査の実施</b> 保育所・幼稚園等における読書活動についての調査を実施し、その結果を踏まえ、読書活動のさらなる充実のための啓発に努めています。</p>	<p><b>④保育所・幼稚園等における読書活動調査の実施</b> ・各園における読書活動についての調査を実施し、その調査結果を踏まえ、読書活動の更なる充実を図るために啓発を行った。(小中高生との連携・交流活動において、内容充実に向けた工夫など)</p>	<p><b>④保育所・幼稚園等における読書活動調査の実施</b></p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>H30</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>【読書活動の現状調査】 保育所・幼稚園等における「絵本おはなし宝箱」の活用(%)</td> <td><b>78.1</b></td> <td>75</td> </tr> </table> <p><b>(成果)</b> ・子ども読み聞かせ運動としてH29年度から保育所・幼稚園等へ「絵本おはなし宝箱」を配付し、活用を促してきた。アンケート調査による活用率は78.1%となっており、絵本購入のための選書や読み聞かせでの活用が増加している。</p> <p><b>(課題)</b> ・保護者への絵本紹介での活用率が低いため、多様な活用方法を各園に伝えていく必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>【読書活動の現状調査】 保護者・図書館・ボランティア等の連携の実施率(%)</td> <td>82.8</td> <td>81.9</td> <td>87.7</td> <td>88.3</td> <td>86.8</td> <td><b>86.8</b></td> <td>95</td> </tr> </table> <p><b>(成果)</b> ・図書館、小中高生や保護者との連携が増加している。特に小中高生との連携が最も増加しており、園児とのふれ合いの後、読み聞かせをする活動を取り入れている。これらの活動においては小中高の教職員との連携が必要であり、情報共有の機会ともなっていると考えられる。</p> <p><b>(課題)</b> ・全体的に読書活動での保護者・図書館・ボランティア等との連携は伸び悩んでいる。地域の読み聞かせボランティアが読み聞かせをするよさを伝えたり、園訪問の機会に紹介したりする等、交流についても促していく必要がある。</p>	指標	H30	目標値	【読書活動の現状調査】 保育所・幼稚園等における「絵本おはなし宝箱」の活用(%)	<b>78.1</b>	75	指標	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値	【読書活動の現状調査】 保護者・図書館・ボランティア等の連携の実施率(%)	82.8	81.9	87.7	88.3	86.8	<b>86.8</b>	95	
指標	H30	目標値																								
【読書活動の現状調査】 保育所・幼稚園等における「絵本おはなし宝箱」の活用(%)	<b>78.1</b>	75																								
指標	H25	H26	H27	H28	H29	H30	目標値																			
【読書活動の現状調査】 保護者・図書館・ボランティア等の連携の実施率(%)	82.8	81.9	87.7	88.3	86.8	<b>86.8</b>	95																			
県立図書館	<p><b>⑤子どもと本をつなぐイベントの実施</b> オーテピア高知図書館において、小さいころから子どもが本に親しみ、また、保護者も子どもの読書に関心を持つように、読み聞かせやストーリーテリングなどを定期的に行います。</p> <p><b>⑥児童図書等の資料の充実</b> オーテピア高知図書館では、長く子どもに読み継がれる基本的な図書やおはなしばかりでなく、視野を広げ、好奇心を育む自然や科学の絵本、在住の外国人や英語学習・多文化理解のための図書・雑誌等を収集し、提供します。</p>	<p><b>⑤子どもと本をつなぐイベントの実施</b> ・オーテピア高知図書館において、各種おはなし会を実施。 ・児童書の展示を実施。</p> <p><b>⑥児童図書等の資料の充実</b> ・おはなしの絵本、科学の絵本など、様々なジャンルの児童書を購入した。 ・長く子どもに読み継がれている基本的な図書の複本を購入した。 ・こどもコーナー内に洋書絵本を配架した。</p>	<p><b>⑤子どもと本をつなぐイベントの実施</b> <b>(成果)</b> ・「びった〜あかちゃんのおはなしかい〜」延べ33回 参加613人 ・「おはなしのじかん」延べ33回 参加495人 ・「ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会」延べ15回 参加255人 ・「開館記念 平和おはなし会 ヒョウのハチ」参加15人 ・「オーテピア高知図書館開館記念事業 リレーおはなし会」参加554人 ・「手話のおはなし会」参加39人 ・展示 計22回2723冊 (H31.3 末時点)</p> <p><b>(課題)</b> ・おはなし会の参加者を増やし、多くの子ども達が読書に関心を持つように働きかけることが必要である。</p> <p><b>⑥児童図書等の資料の充実</b> <b>(成果)</b> ・自然や科学の児童書(4類)の購入冊数(県立図書館分。選定支援・BM除く)：220冊(H31.3 末時点) ・洋書絵本の購入冊数(県立図書館分。選定支援・BM除く)：104冊(H31.3 末時点)</p> <p><b>(課題)</b> ・様々な言語の絵本の購入が必要である。</p>																							

### 第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

#### 1 発達段階に応じた読書活動の推進

##### (4) 子どもの読書活動の意義や大切さを伝える総合的な取組

子どもが本に親しみ、読書習慣を身に付けるためには、子どもの読書活動に関わる公立図書館、学校、民間団体等の関係機関の取組とともに、各機関が連携して、子どもの読書活動を総合的に推進することが重要です。そのため、子どもの読書活動推進に向け、「子ども読書の日」や「志(こころざし)・とさ学びの日」等の機会に、県民の読書活動の機運を醸成することを目的に、読書活動の重要性の広報・啓発や、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、民間団体(個人)の取組を奨励し、活動の一層の充実を図ります。また、子どもの読書活動に関わる情報を家庭や地域に提供していきます。

担当課	計画の記載内容	平成30年度の実施状況	成果と課題	備考
生涯学習課	<p><b>①市町村による子ども読書活動推進計画策定への支援</b> 市町村における読書活動の取組の充実を図るため、子ども読書活動推進計画が未策定の市町村に対し、先進事例の紹介や助言等により、計画の策定を支援します。また、子ども読書活動推進計画の策定済み市町村に対しては、計画に基づく着実な推進、改正が実施されるよう支援します。</p> <p><b>②「子ども読書の日」(4月23日)等の啓発</b> 「子ども読書の日」(4月23日)や「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)、「秋の読書週間」(10月27日～11月9日)、「志(こころざし)・とさ学びの日」(11月1日)に、読書の楽しさや意義、重要性について県民への啓発を実施します。また、公立図書館や学校等において、民間団体・読書ボランティア等と連携し、その趣旨に沿った行事や催しを実施するように働きかけます。</p>	<p><b>①市町村による子ども読書活動推進計画策定への支援</b> ・市町村教育長や読書活動担当者への訪問を実施し、読書活動推進計画に基づく取組の推進に向けて継続して取り組まれるよう啓発を行う。 ・市町村子ども読書活動推進計画策定…33市町村 ・計画年限終了市町村(H31.4)…15市町村</p> <p><b>②「子ども読書の日」(4月23日)等の啓発</b> ・16市町村で「子ども読書の日」に関連した取組を実施予定。(H29.3調査より)</p>	<p><b>①市町村による子ども読書活動推進計画策定への支援</b> <b>(課題)</b> ・計画の作成はほとんどの市町村で行われているが、その改訂に取り組んでいない自治体は少なくない。 ・改訂を促すような具体的な支援が必要である。</p> <p><b>②「子ども読書の日」(4月23日)等の啓発</b> <b>(成果)</b> ・「子ども読書の日」に対する認知度も上がり、H29に実施した調査では市町村は16であったが、今年度調査では26で飛躍的にのびた。 ・図書館の規模などに関係なく各市町村で、おすすめする本の展示や読み聞かせ、図書用品の作成など様々な取組が行われた。</p>	
小中・高等・特支	<p><b>③文部科学大臣表彰による優れた取組の奨励、普及、啓発</b> 県内の特色ある優れた実践を行っている学校、図書館、民間団体及び個人を表彰する文部科学大臣表彰制度を活用し、関係者の取組の意欲をさらに高め、活動の一層の充実を図るとともに、取組内容を県民に紹介することにより、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、読書の機運醸成を図ります。また、文部科学大臣表彰受賞報告会を行い、ホームページや各研修会、研究大会等で紹介します。</p>	<p><b>③文部科学大臣表彰による優れた取組の奨励、普及、啓発</b> ・平成30年受賞校・図書館・団体 高知市立春野東小学校、越知町立越知中学校、高知県立高知東工業高等学校、いの町立図書館、布絵本の会ちくちく(南国市立図書館) ・(受賞校の取組や実践事例等をホームページや各研修会、研修大会等で紹介する)</p>	<p><b>③文部科学大臣表彰による優れた取組の奨励、普及、啓発</b> <b>(課題)</b> ・各教育事務所等と連携、情報共有しながら、特色ある優れた実践を行っている学校の掘り起こしが必要である。</p>	

### 第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

#### 2 地域や人とのつながりを深める読書活動の推進

子どもが自発的な読書習慣を身に付けるためには、子どもの読書活動に関わる人や地域とのつながりが重要です。公立図書館、学校、民間団体等の関係機関それぞれが工夫して取り組むとともに、各機関が連携を強め、子どもの読書活動を総合的に推進することが重要です。

担当課	計画の記載内容	平成30年度の実施状況	成果と課題	備考
<p>幼保・小中・高等・生涯</p> <p style="text-align: center;">具体的な取組</p>	<p><b>①読書活動を通じた異年齢交流の促進</b>                      小・中学生や高校生が保育所・幼稚園等で読み聞かせ等を行うなど異年齢交流や異校種間交流を推進し、この活動を通して、子どもたちが絵本や物語等の多様な本に触れたり、目的を持って本等を選び豊かに表現したりする機会をつくります。また、交流事例等をホームページ等で情報発信します。</p>	<p><b>①読書活動を通じた異年齢交流の促進</b>                      (幼保支援課)                      ・異年齢交流を読書活動調査に位置付け、連携が図られるよう意識付けを図った。                      (小中学校課)                      ・指定校ではリーフレットやポスター等を作成し、学校図書館にお気に入りの本を紹介するコーナーを設置するなどの異学年交流を行っている。</p>	<p><b>①読書活動を通じた異年齢交流の促進</b>  <b>(成果)</b>                      (幼保支援課)                      ・保育所・幼稚園等で行われている小中高生との交流では、絵本の読み聞かせ等を実施した園が年々増加している。選書や読み聞かせのアドバイスに加え、子どもたちが交流しやすくなるよう、園児とふれあい遊びを行った後に、読み聞かせを行う等、内容の充実が見られる園もあった。                      (小中学校課)                      ・指定校では「学校図書館運営方針及び全体計画」「学校図書館年間活動計画」「学校図書館教育年間計画」を立てて、全教職員で共通認識を図り、各教科とのつながりを意識しながら実践を行っている。  <b>(課題)</b>                      (幼保支援課)                      ・異年齢交流を啓発するとともに、互いがめあてをもって取り組み、評価、振り返りを行うことで、継続した取組になるよう促していく必要がある。                      (小中学校課)                      ・計画を基に実践はしているが、評価・検証し、改善までに至っていない。                      ・指定校の研究や実践について、各学校のホームページによる発信に温度差がある。                      (高等学校課)                      ・授業やボランティア等で園児に絵本の読み聞かせを行っている学校もあるが、各校に対しての十分な促進はできていない。</p>	
<p>生涯学習課</p>	<p><b>②地域学校協働本部等の仕組みを活用した読書活動の推進</b>                      地域学校協働本部事業における読み聞かせ活動に多くの地域住民や読書ボランティアに参画していただき、読書を通して地域の大人との交流を深めます。                      ・<b>地域学校協働本部事業</b></p> <p><b>③NPOと連携した読書環境の改善</b>                      NPO法人等が他の民間団体等と連携し、公立図書館未設置の中山間地域等において「出張図書館」を開催し、地域の子どもと大人が本や読み聞かせを通じて触れ合い、交流を深め、身近な生活に図書館があることの良さを実感する機会を創出します。  <b>【重】・出張図書館事業</b></p> <p><b>④地域の教育関連施設と連携した読書活動の推進</b>                      文学館や博物館、地域の教育関連施設等と連携し、本と関わるイベント等を実施することを通して、本と読書への興味や子どもと地域とのつながりを深めます。</p>	<p><b>②地域学校協働本部等の仕組みを活用した読書活動の推進</b>                      ・引き続き、支援員や読書ボランティアに参画してもらうための啓発を実施する。                      ・放課後子ども教室等での読書活動の実施状況の調査を実施する。</p> <p><b>③NPOと連携した読書環境の改善</b>                      ・公立図書館未設置の中山間地域を中心に市町村教育長や図書館行政所管課を訪問し、図書環境の充実に向けた協議を行う。                      11/12 本山町、大豊町 。11/29 三原村。</p> <p><b>④地域の教育関連施設と連携した読書活動の推進</b>                      ・オーテピア高知図書館のサービス計画等を活用し、地域の行事やイベント等で読書活動の啓発が行われるよう、周知する。</p>	<p><b>②地域学校協働本部等の仕組みを活用した読書活動の推進</b>  <b>(成果)</b>                      ・315ヶ所の子ども教室や児童クラブのうち約83%(263ヶ所)において、読み聞かせなどの読書支援が実施されている。                      ・地域学校協働本部に読み聞かせ活動が組み込まれている小学校数：105校、中学校29校、小中一貫校1校</p> <p><b>③NPOと連携した読書環境の改善</b>  <b>(課題)</b>                      市町村訪問等を通じて、NPO法人との連携を促しているが、実施にまで至っていない。</p> <p><b>④地域の教育関連施設と連携した読書活動の推進</b>  <b>(成果)</b>                      市町村によっては、図書館と地域おこし協力隊が連携し図書イベントの開催や地域の行事に関連した図書の貸出などが行われている。</p>	